

実施計画書

文部科学省初等中等教育局長 殿

住 所 福島県福島市杉妻町2番16号  
管理機関名 福島県教育委員会  
(代表の機関)  
代表者名 鈴木 淳一

1 管理機関

①管理機関 (市区町村・都道府県)

ふりがな	ふくしまけんしょうこうろうどうぶ
管理機関名	福島県商工労働部
代表者職名	商工労働部長
代表者氏名	安齋 浩記

②管理機関 (産業界) ※2団体以上ある場合は、適宜、欄を追加して記入してください。

ふりがな	みなみそうまるぼつとさんぎょうきょうぎかい
管理機関名	南相馬ロボット産業協議会
代表者職名	会長
代表者氏名	五十嵐 伸一

③管理機関 (学校設置者)

ふりがな	ふくしまけんきょういくいいんかい
管理機関名	福島県教育委員会
代表者職名	教育長
代表者氏名	鈴木 淳一

2 指定校名

学校名 福島県立小高産業技術高等学校  
学校長名 金田 洋一郎

3 事業名 ふくしまの未来を創るテクノロジスト育成事業

4 事業概要

急速に変化する産業構造や仕事内容に、柔軟に対応できる資質・能力を身に付けたふくしまの未来を創るテクノロジストを育成する。そのため、企業・産業界と教育界が一体となって、最先端の職業人材育成システムを構築するための教育課程の編成・実施・改善及び学習プログラムを開発する。マイスター・ハイスクールCEOと産業実務家教員から指導・助言・支援等を受け、福島ロボットテストフィールドを活用し、廃炉や災害に関するロボット技術、水素エネルギー等の再生可能エネルギー技術、AIやドローンを利用した制御技術、土壌や水質等の分析技術、航空・宇宙産業に関する知識・技術、スマートシティを実現するた

めの知識・技術を体系的な授業・実習を实践することで最先端の知識・技術を身に付けていく。

5 学校設定教科・科目の開設，教育課程の特例の活用（□で囲むこと）

- 学校設定教科・科目を開設している  
イ 教育課程の特例の活用している

6 事業の実施期間

契約日～令和4年3月31日

7 令和3年度の実施計画

(1) 育成する人材像

『地域復興・発展の中核を担い、福島イノベーション・コースト構想に寄与する職業人材の育成』

本県においては、甚大な被害を受けた東日本大震災から10年が経過するものの、原発事故からの復興・創生は未だ道半ばである。現在、様々な分野におけるイノベーションに繋がる取組が行われているところであり、福島ロボットテストフィールドと連携し、福島イノベーション・コースト構想を担う人材育成・確保により福島の復興・創生、発展に繋がっていくと考える。

(2) 身に付けさせたい資質・能力

地域復興・創生の中核を担う人材を育成するために、次に掲げる4つの資質・能力『4C』を身に付けさせる。

- Challenge：集積される新産業の高度な知識や技術習得に挑戦する力
- Create：地域の実情を踏まえ未来を創造する力
- Continue：変革に対応し目標達成まで諦めることなく継続する力
- Cooperate：人間性を磨き他者と協働する力

<添付資料>

令和3年度教育課程表

8 事業実施体制

意思決定機関の体制（マイスター・ハイスクール運営委員会）

氏名	所属・職
金田洋一郎	福島県立小高産業技術高等学校・学校長
高橋 隆行	国立大学法人福島大学共生システム理工学類・物理・システム工学コース教授
屋代 眞	公立大学法人会津大学・復興支援センター特任教授
高橋 隆助	原町商工会議所・会頭
木村 浩之	株式会社ゆめサポート南相馬・取締役所長
土井 義人	南相馬市役所・経済部理事
藤城 良教	福島県商工労働部・再生可能エネルギー産業推進監兼次長
丹野 純一	福島県教育庁・教育次長

事業実行機関の構成（マイスター・ハイスクール事業推進委員会）

氏名	所属・職
五十嵐伸一	南相馬ロボット産業協議会・会長
羽山 貴洋	株式会社相馬製作所・工場長
渡邊 光貴	株式会社タカワ精密・取締役
成瀬 哲也	福島県立テクノアカデミー浜職業能力開発短期大学校・ ロボット・環境エネルギーシステム学科教務主任
金田洋一郎	福島県立小高産業技術高等学校・学校長
渡邊 浩志	福島県立小高産業技術高等学校・副校長
阿部 光	福島県立小高産業技術高等学校・教頭（工業）
羽染 恒	福島県立小高産業技術高等学校・教頭（商業）
佐藤 隆志	福島県立小高産業技術高等学校・教諭（工業・機械科）
櫛田 古瀬	福島県立小高産業技術高等学校・教諭（工業・電気科）
猪狩 俊夫	福島県立小高産業技術高等学校・教諭（工業・産業革新科環境化学コース）
齋藤 利明	福島県立小高産業技術高等学校・教諭（工業・産業革新科電子制御コース）
平出 純也	福島県立小高産業技術高等学校・教諭（商業・産業革新科）
志賀 広美	福島県立小高産業技術高等学校・教諭（商業・流通ビジネス科）
佐藤 里美	福島県立小高産業技術高等学校・教諭（地歴公民・総務部主任）
木幡さゆり	福島県立小高産業技術高等学校・教諭（英語・教務部主任）

9 課題項目別実施期間

業務項目	実施期間（契約日 ～令和4年3月31日）											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ロボット技術			▶									
再生可能エネルギー			▶									
制御技術			▶									
分析技術			▶									
航空・宇宙産業			▶									
スマートシティ			▶									
運営委員会			◎							◎		
事業推進委員会			◎	◎		◎		◎		◎		

10 知的財産権の帰属

※いずれかに○を付すこと。なお、1. を選択する場合、契約締結時に所定様式の提出が必要となるので留意すること。

( ) 1. 知的財産権は受託者に帰属することを希望する。

(○) 2. 知的財産権は全て文部科学省に譲渡する。

11 再委託の有無

再委託業務の有無 有 ・  無

※有の場合、別添3に詳細を記載すること。

12 所要経費

別添のとおり

※課税・免税事業者： 課税事業者・ 免税事業者 (□で囲むこと)